

経営比較分析表（平成30年度決算）

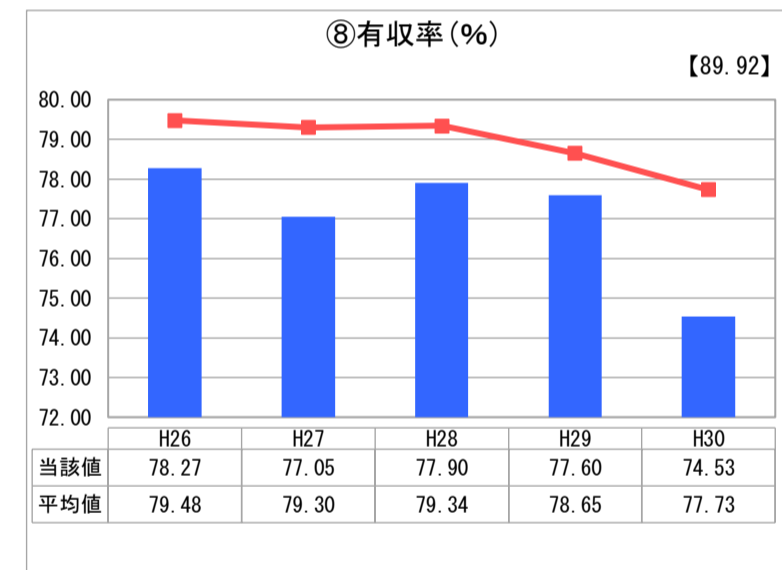
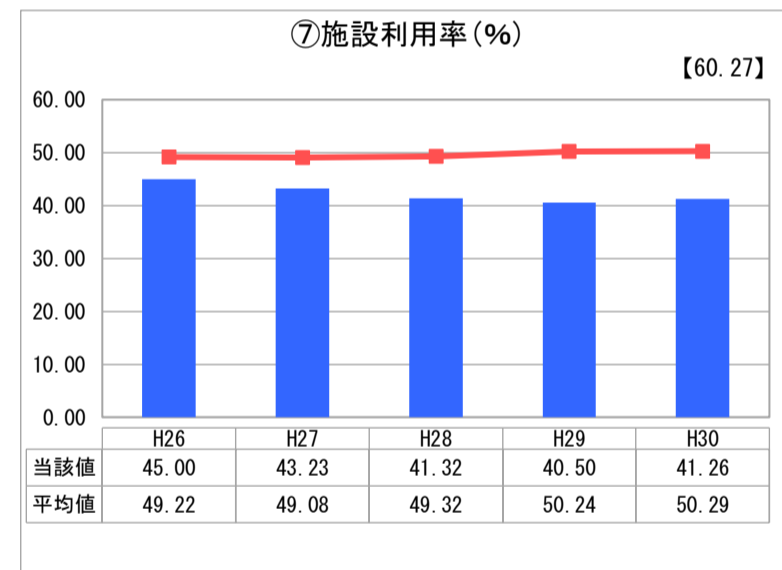
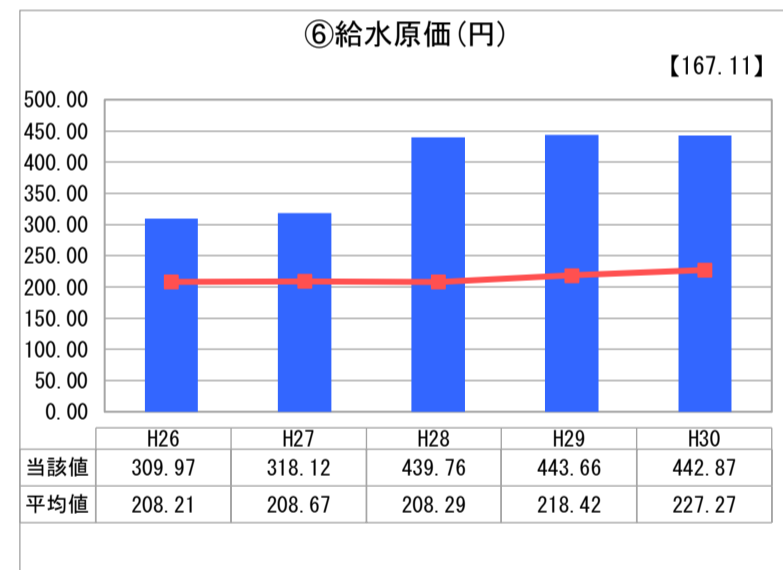
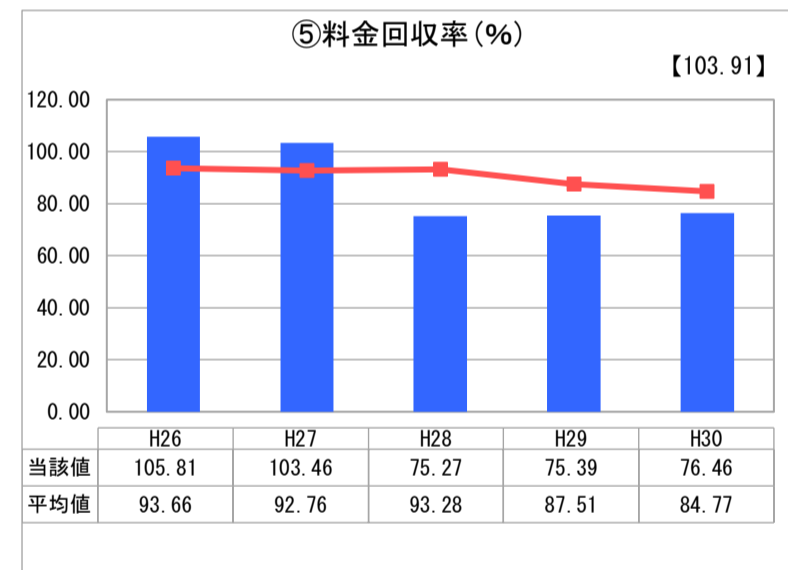
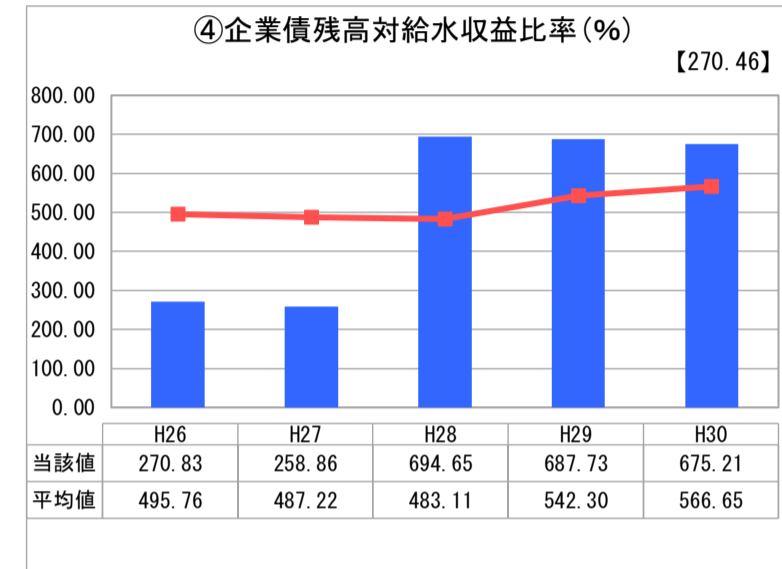
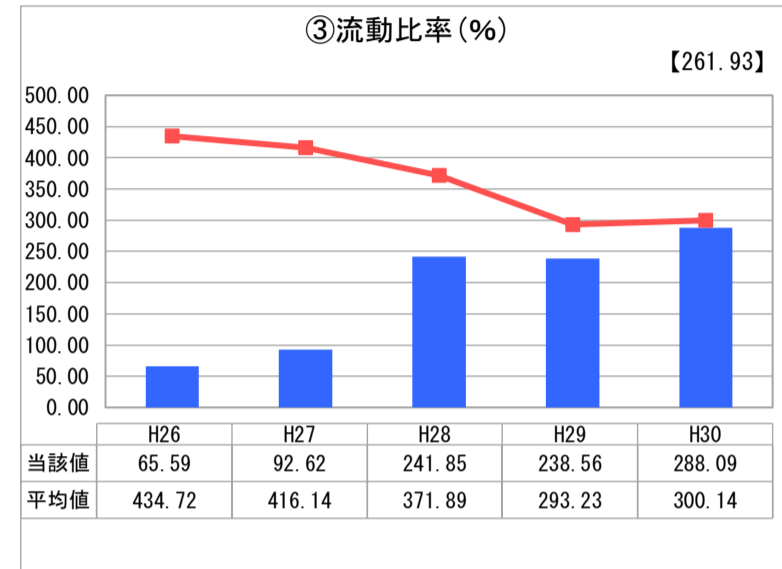
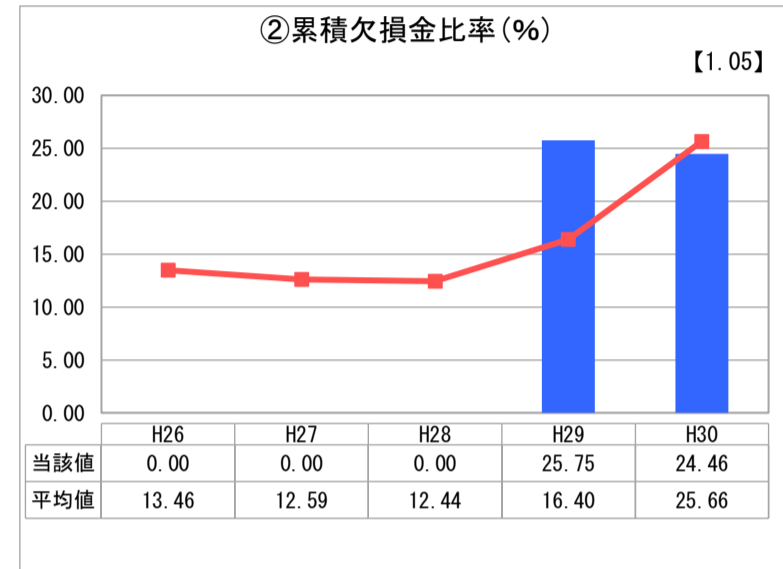
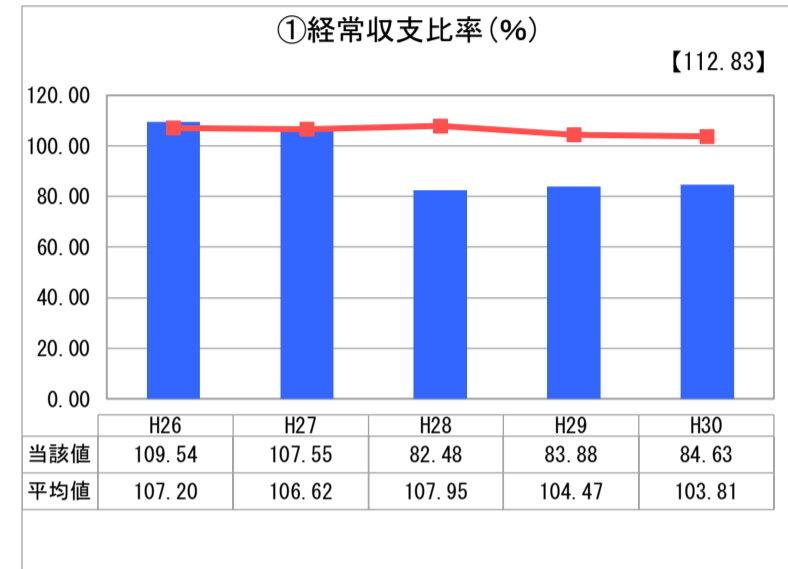
北海道 夕張市

| | | | | |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A8 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 64.47 | 99.45 | 6,841 | |

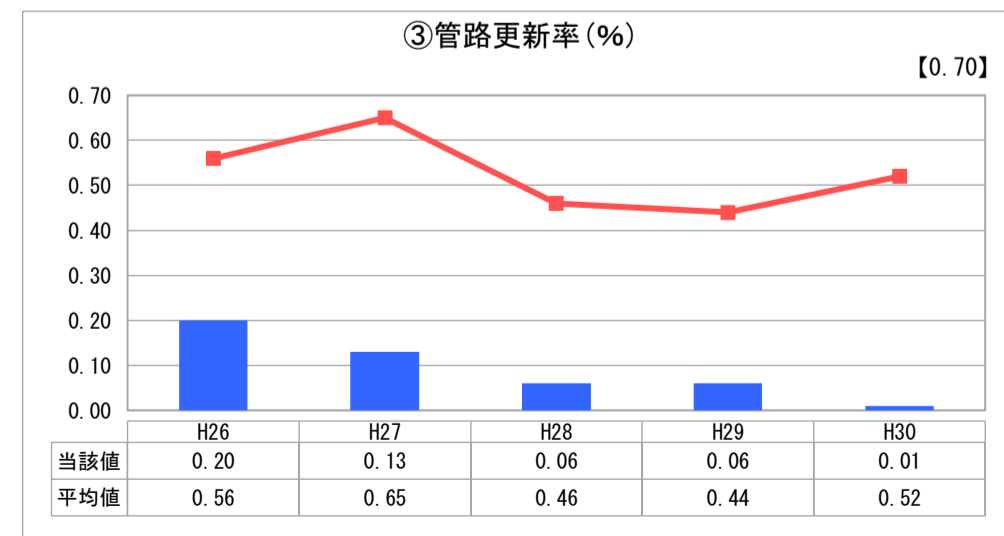
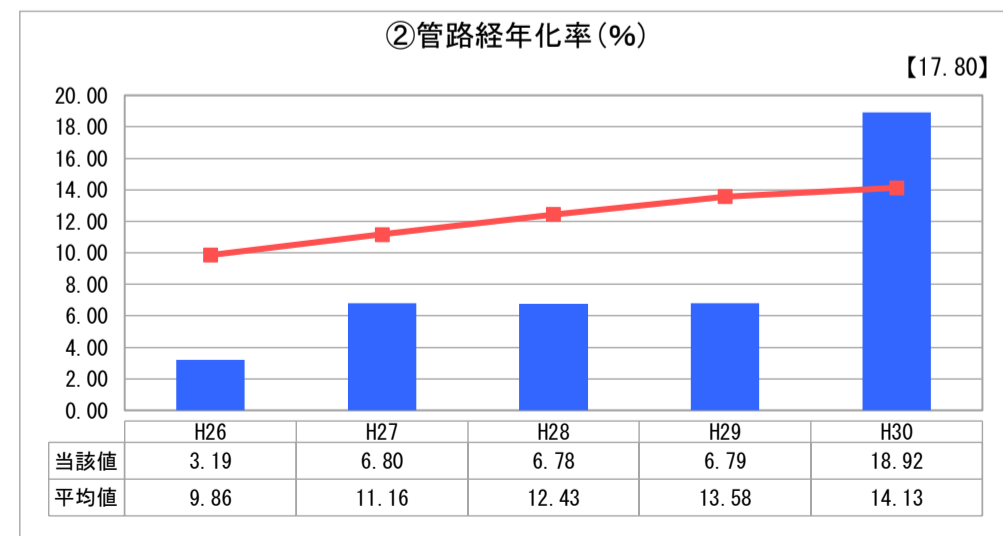
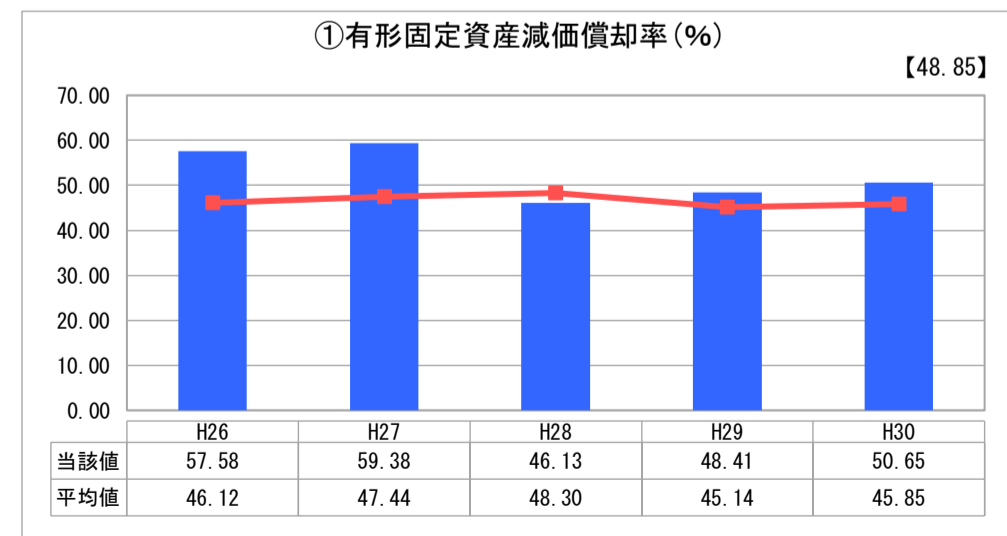
| | | |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
| 8,087 | 763.07 | 10.60 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 8,005 | 44.20 | 181.11 |

| |
|----------------|
| グラフ凡例 |
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 平成28年度に更新した浄水場等の減価償却が始まったため、100%を下回っている。今後、更なる経営効率改善に努める。
- 決算統計報告時には当年度未処理欠損金が発生しているが、H30年度損失分は未処分利益剰余金で補填している。そのため、欠損金は発生していない。
- 毎年度100%を上回っているが、類似団体と比べ低いことから、支払能力を高める必要がある。なお、平成26年度に大幅減少しているのは、会計基準の見直しにより1年以内に償還する企業債を流動負債に計上することとなったための減少である。
- 平成28年度浄水場更新に伴い新たな借入が発生したため、増加した。今後、計画的に返済を行っていくことにより、改善が見込まれる。
- 給水に係る費用が増加したことにより、100%を下回っているため、経費節減等検討が必要である。
- 有収水量1m³あたりの給水原価は類似団体に比べ高い状況にあるため、経費節減等検討が必要である。
- 類似団体を下回っているため、配水能力の縮小等、効率化に努める必要がある。
- 類似団体を下回っているため、漏水調査を実施し更なる有収率の上昇に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- 平成28年度の浄水場更新に伴いH28年値より数値が改善したが、法定耐用年数を迎える管路等を多く保有している。なお、平成26年度以降、大幅に増加しているが、これは会計基準の見直しによるみなし償却制度の廃止に伴う増加である。
- 平成30年度は類似団体の平均を上回っており、管路の計画的な更新が必要である。
- 類似団体平均を下回っている。今後、管路の経年化率が増加することを踏まえ、計画的な更新が必要である。

以上のことから、今後は法定耐用年数を迎える施設の増加が見込まれるため、それに伴い増加する更新事業をいかに計画的かつ効率的に行うかが課題となる。

全体総括

現在は平成22年度に策定した「夕張市上水道第8期拡張事業計画」に基づき経営しているが、人口減少に伴う給水収益の減少及び管路の老朽化に伴う更新事業が増加することを踏まえると、新たに更新に係る費用と経営状況を把握し、更なる経費節減及び有収率の向上に取り組み、健全な経営を維持しつつ計画的かつ効率的な施設の更新を行う必要がある。